

こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。
安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のお願いは表面をご覧ください。

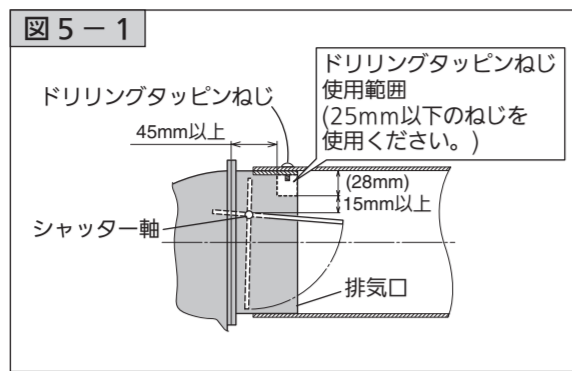
取り付けかた (つづき)

5. ダクトと排気用部品の接続

以下は左側排気の場合を示します。右側排気の場合は左右対称としてください。

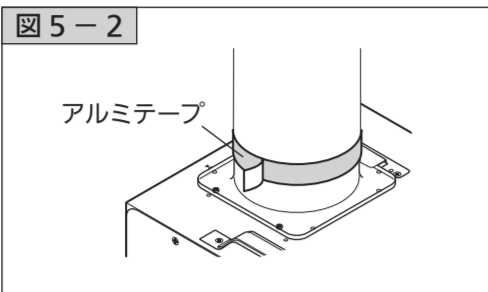
お願い

ドリリングタッピンねじを固定する場合は、シャッターにねじが当たらないように図を参照してドリリングタッピンねじ使用範囲以内に固定してください。(図5-1)



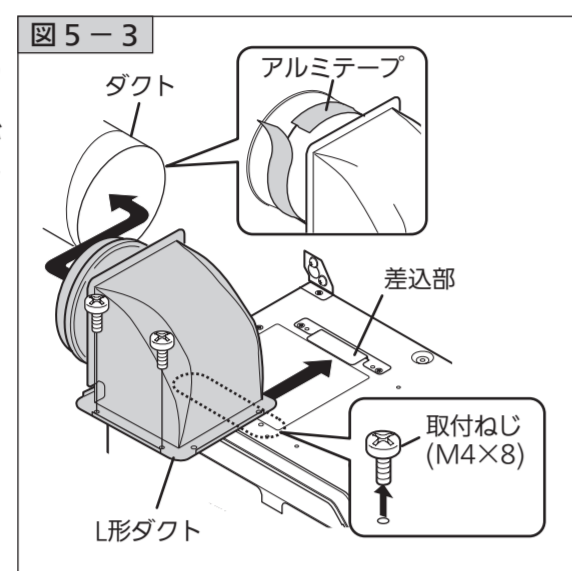
■ 上方排気の場合

ダクトと排気口の接続部に風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこないます。(図5-2)



■ 側方排気および後方排気の場合(別売のL形ダクトを使用する場合)

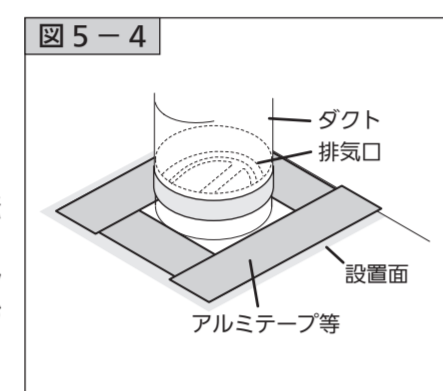
1 排気口を取り付けます。(図5-3) 本体排気口取付位置に取り付いている取付ねじ2本をはずした後、L形ダクトを本体上部の差込口に差し込みながら、排気口をダクトに挿入し、はずした取付ねじ2本で取り付けます。



2 風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)をおこないます。(図5-3)

■ 排気口設置面の漏風確認のお願い(図5-4)

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとすると、排気口と排気口の設置面(製品天面等)が変形し、風漏れが発生してしまふ場合があります。風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転(強運転)をおこなってください。漏風する場合は、排気口と設置面の間をアルミテープ等(現場調達品)で漏風防止処置をおこなってください。



7. 電気配線

警告



● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすおそれがあります



● 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります



● 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります



● アースを確実に取り付けること
誤作動の原因になります
また、故障や漏電のときに感電するおそれがあります
アースの取り付けは販売店にご相談ください

分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

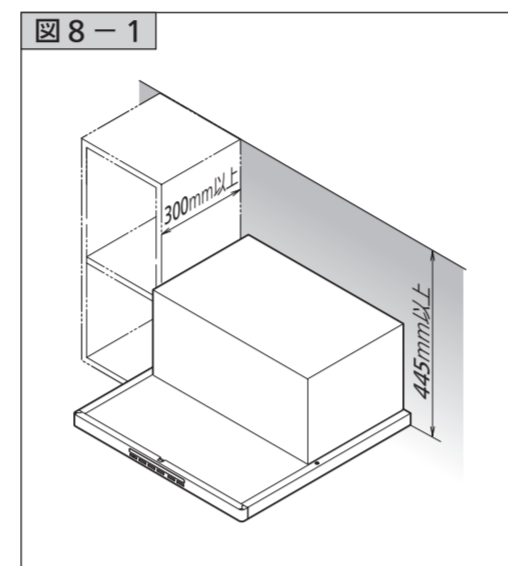
お願い

- 電源は専用のコンセント(2極差込接続器 15A、125V)およびブレーカーを設けてください。
- 「F9. 試運転」までブレーカーは「入」にしないでください。
- コンセントは電源コードの長さを考慮し、設置してください。
- 必ずアース(D種接地工事)をしてください。
- レンジフードの配線工事の際、壁スイッチを設置しないでください。

8. 幕板の取り付け

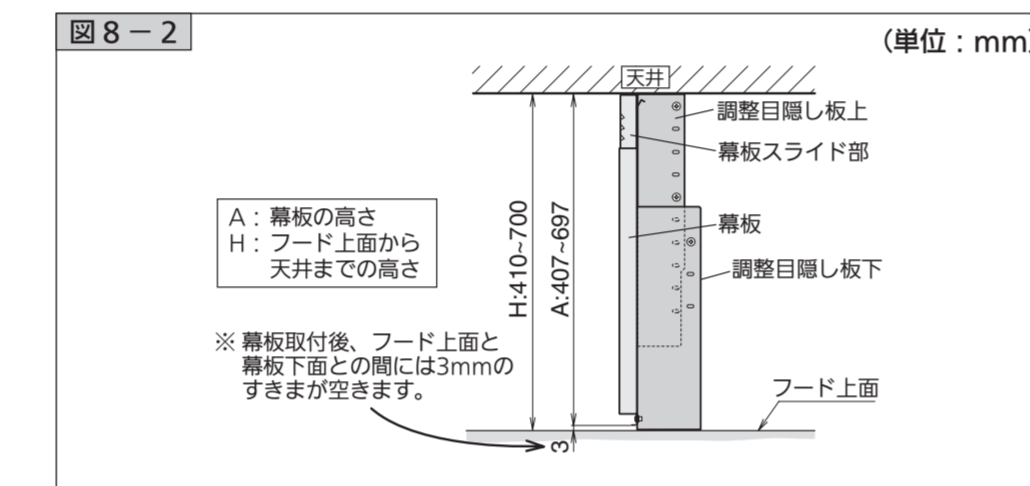
■ 取り付け前の寸法確認(図8-1)

フード下面から天井までの高さが445mm以上、また壁からキャビネット本体までの奥行300mm以上あるかそれぞれ確認してください。
※奥行が300mm以下の場合は別売の横幕板をご使用ください。



■ 幕板取付高さ範囲(図8-2)

次式により幕板の高さを算出し、幕板のライド部を調整して高さを合わせます。
A(幕板の高さ) = H(フード上面から天井までの高さ) - 3mm



6. 取扱説明書およびオイルガード固定テープの取りはずし

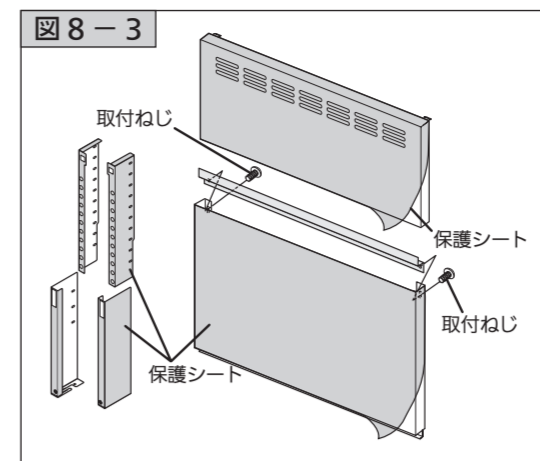
- 保護用クッション材をいったん取りはずし、整流板に貼り付けてある取扱説明書をはずします。
- 付属の取扱説明書を参照して整流板を取りはずし、オイルガードを固定しているテープをはがします。
固定テープをはがした後は整流板をもとどりに取り付けてください。

1 保護シートをはがします。(図8-3)

幕板および調整目隠し板上・下に保護シートがついている場合は、保護シートをはがします。

お願い

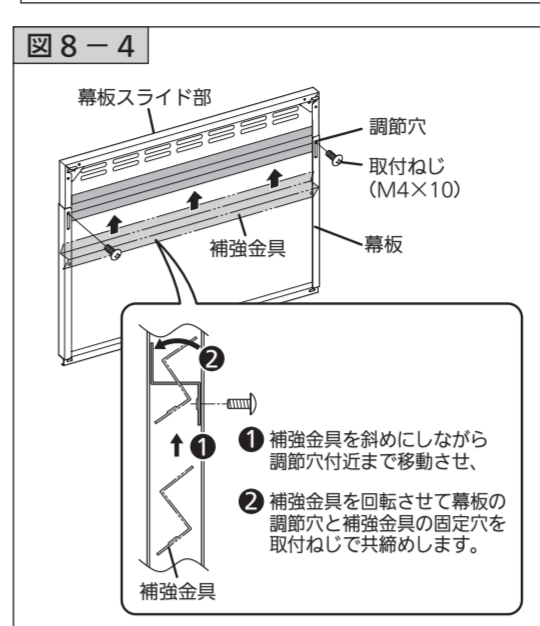
保護シートをはがした後はキズが付きやすいので十分注意してください。



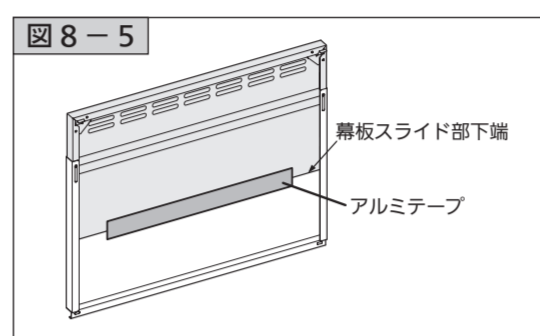
2 スライド部を固定します。(図8-4)

※あらかじめ「幕板取付高さ範囲」(図8-2)を参照して幕板の高さ調整をおこなってください(幕板をキズつけないよう十分ご注意ください)。

- 1) 補強金具を幕板裏面に差し入れ、幕板の高さ調整穴付近まで移動させます。
- 2) 補強金具を回転させ、幕板の調整穴と補強金具の穴位置を合わせ、取付ねじ(M4×10)2本で固定します。



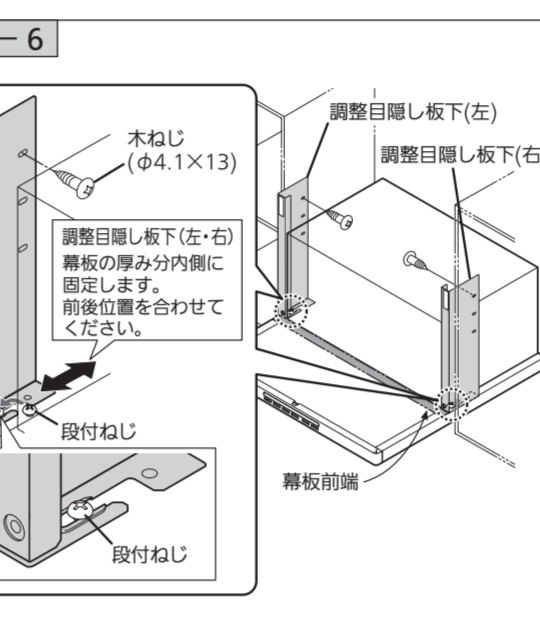
3) 幕板スライド部の下端を付属品のアルミテープで幕板裏面より固定します。(図8-5)



3 調整目隠し板下(左・右)を取り付けます。(図8-6)

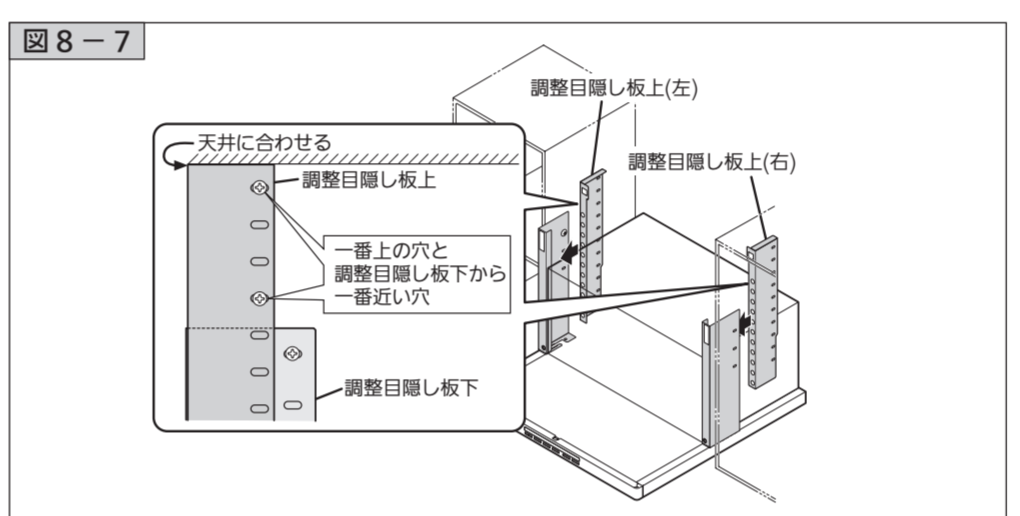
調整目隠し板上・下を取り付ける際は左右を間違えないようご注意ください。

- 1) フード左右の取付部にあらかじめ取り付けられている取付ねじに調整目隠し板下の下部にある切り欠きを差し込み、前後にスライドさせて位置を合わせます。
- 2) 調整目隠し板下とキャビネットを付属品の木ねじ(φ4.1×13)で固定します。



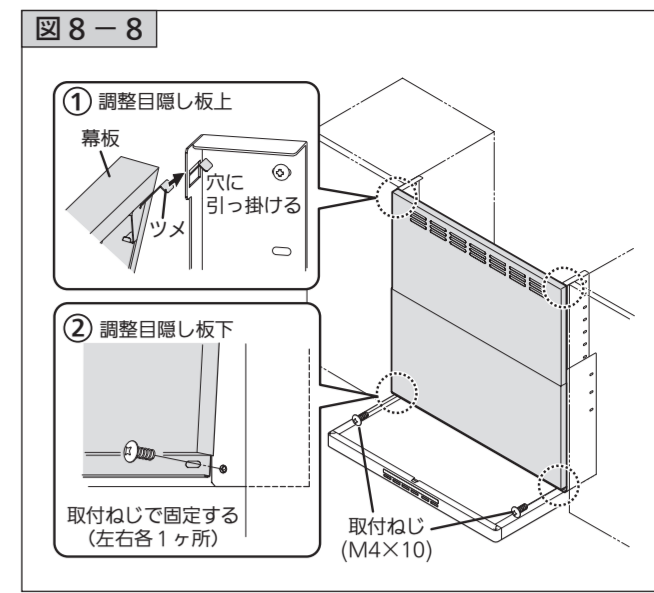
4 調整目隠し板上(左・右)を取り付けます。(図8-7)

調整目隠し板上を調整目隠し板下に差し込み、天井に合うよう位置を調整して木ねじ2本で固定します。
※木ねじ2本は、うち1本を調整目隠し板上にある一番上の穴、もう1本を調整目隠し板下に最も近い穴に取り付けてください。



5 幕板を取り付けます。(図8-8)

- 1) 幕板裏面上部にある左右のツメを調整目隠し板上の穴に引っ掛けます。
- 2) 幕板と調整目隠し板下のねじ穴を合わせ、付属品の取付ねじ(M4×10)2本で固定します。



9. 試運転

注意



● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをすおそれがあります

- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 必ず最終設置した状態で試運転してください。
- 整流板が正しく取り付けられていないと運転できません。
- 整流板の取り付けについては取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各連調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異常音がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事に発生した不具合で修理を依頼されずと全て有料となりますので十分確認してください。
- 製品保護のため、はずした保護用のクッション材と固定テープをもとの状態に取り付けてください。

10. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取扱説明書を必ずお客様にお渡しください。

〔販売元〕 **フジテックメンテナンス株式会社**

〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号

お申し込み・お問い合わせ 0120-953-903 (通話料無料)

FAX 042-768-3383

ホームページ <https://www.fujioh.shop>

受付時間 9:00 ~ 17:30 (土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く)

〔製造元〕 **-FUJIOH-** 富士工業株式会社

〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号

お客様ご相談窓口 0120-071-686 (通話料無料)

受付時間 9:00 ~ 17:30 (土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く)